

# 日本学術会議 物理学委員会 天文学・宇宙物理学/IAU分科会 報告

分科会開催：令和2年1月27日、5月8日、8月20日

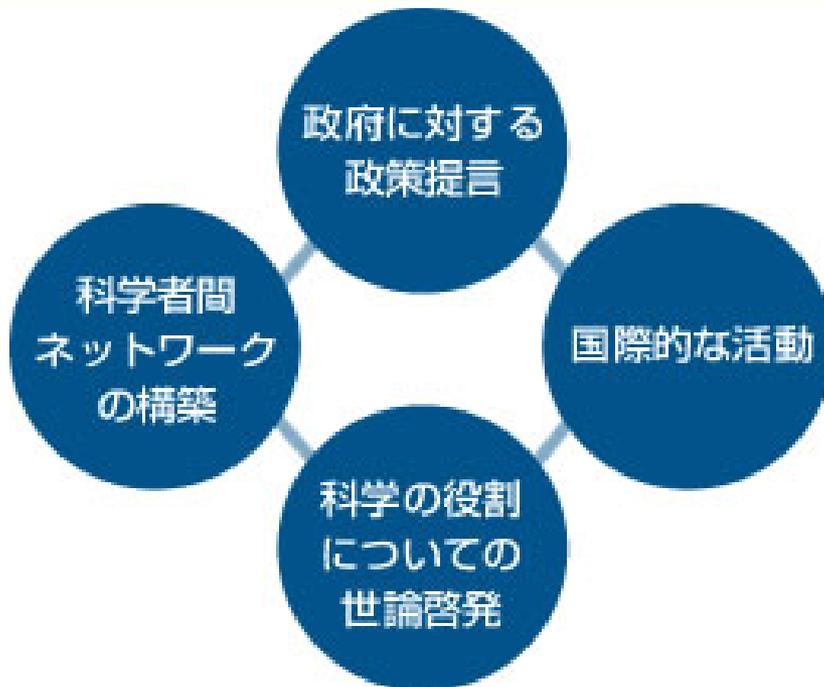
報告者：深川美里  
(日本学術会議連携会員)

# 日本学術会議

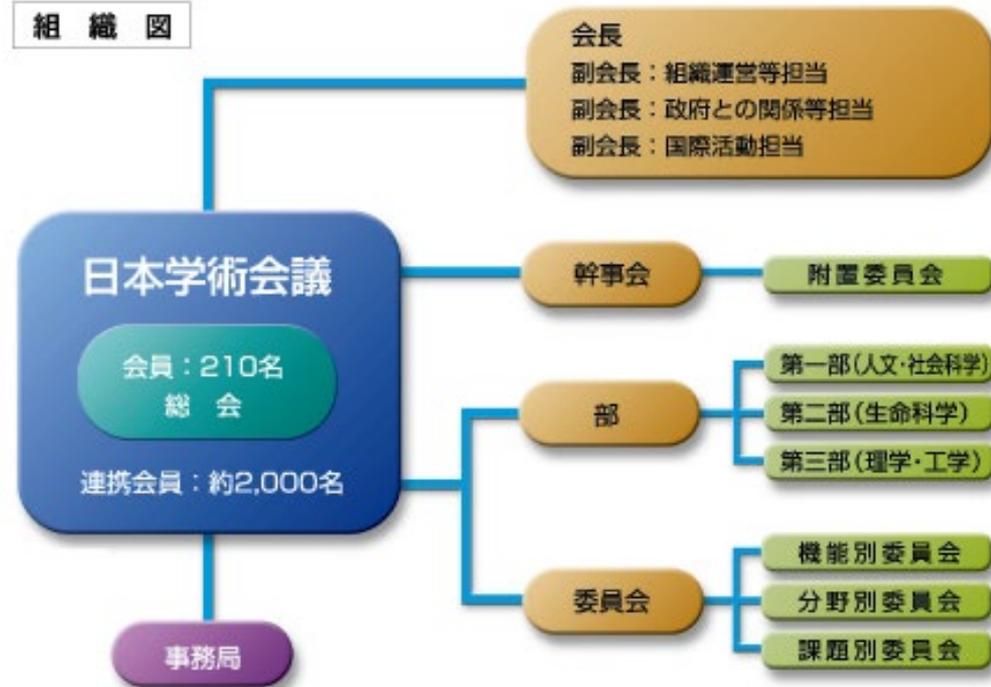
## 日本学術会議とは

日本学術会議は、科学が文化国家の基礎であるという確信の下、行政、産業及び国民生活に科学を反映、浸透させることを目的として、昭和24年（1949年）1月、内閣総理大臣の所轄の下、政府から独立して職務を行う「特別の機関」として設立されました。職務は、以下の2つです。

- 科学に関する重要事項を審議し、その実現を図ること。
- 科学に関する研究の連絡を図り、その能率を向上させること。



## 組織図



氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
梶田 隆章	東京大学宇宙線研究所教授	第三部会員
田近 英一	東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻教授	第三部会員
藤井 良一	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構長	第三部会員
山崎 典子	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	第三部会員
相川 祐理	東京大学大学院理学系研究科天文学専攻教授	連携会員
浅井 歩	京都大学大学院理学研究科附属天文台准教授	連携会員
生田ちさと	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所学際科学研究系准教授	連携会員
岡村 定矩	東京大学エグゼクティブ・マネジメント・プログラムチェアマン補佐	連携会員
奥村 幸子	日本女子大学理学部数物科学科教授	連携会員
海部 宣男	国立天文台名誉教授	連携会員
佐々木 晶	大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻教授	連携会員
芝井 広	大阪大学理学研究科教授	連携会員
新永 浩子	鹿児島大学学術研究院理工学域理学系物理・宇宙専攻宇宙情報講座准教授	連携会員
杉山 直	名古屋大学大学院理学研究	連携会員

氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
	科教授	
須藤 靖	東京大学大学院理学系研究科物理学専攻教授	連携会員
千葉 証司	東北大学大学院理学研究科天文学専攻教授	連携会員
常田 佐久	国立天文台台長	連携会員
永原 裕子	東京大学大学院理学系研究科教授	連携会員
林 正彦	国立天文台光赤外研究部教授	連携会員
深川 美里	名古屋大学大学院理学研究科准教授	連携会員
観山 正見	広島大学学長室特任教授	連携会員
村山 斉	東京大学国際高等研究所数物連携宇宙研究機構機構長・特任教授	連携会員
山田 亨	国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所教授	連携会員
渡部 潤一	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台教授	連携会員

## ● 天文学・宇宙物理学

委員長：林 正彦、副委員長：山崎典子

## ● IAU

委員長：渡部潤一、副委員長：生田ちさと

幹事：山田 亨、深川美里

# 天文学宇宙物理学分科会報告

(1/27、5/8、8/20開催分)

- 分科会での議論の透明性を確保
  - ✓ 5月8日の分科会より、宇電懇、光赤天連、太陽研連、高宇連、CRC、理論懇の代表者がオブザーバーとして分科会に参加している。
- 第25期委員の推薦について
  - ✓ 連携会員（任期6年）の改選に伴い、天文学会からの推薦に加え、ジェンダーバランスや地域バランスを考慮して、候補者となり得る方々をリストアップした。2020年10月より第25期（1期は3年間）となる。

# 天文学宇宙物理学分科会報告

(1/27、5/8、8/20開催分)

- キャリアパス調査結果のまとめ
  - ✓ (A) 博士課程終了生の進路調査 (2018年6~11月)
  - (B) アカデミックキャリアに主眼をおいた天文学研究者の実態調査 (2019年4~8月)
  - ✓ 充実した統計データが得られた。天文月報で公表するため、奥村・生田両委員が記事を執筆中である。
  - ✓ 次期にシンポジウム等を検討する予定である。今後も継続的に同様の調査を行うことを申し合わせた。
- 安全保障技術研究推進制度について (継続審議)
  - ✓ 国立天文台、宇宙科学研究所等での状況を継続的にフォローアップしている。自然科学研究機構は応募を認めないことを決定した。
  - ✓ 引き続き、機関や大学の状況をフォローしていく。

# 天文学宇宙物理学分科会報告

(1/27、5/8、8/20開催分)

- 大学共同利用機関と大学・コミュニティとの関係のあり方について（継続審議）
  - ✓ 背景：計画の規模が大きくなり、大学と共同利用機関の役割分担が進んでコミュニティと機関の関係性が変化してきた。今まで以上に有機的な結びつきを考えていく必要がある。
  - ✓ 次期にシンポジウムの開催を検討する。
- マスタープラン2020についての報告
  - ✓ 策定され、2020年1月30日に提言として公表された。  
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/kohyo-24-t286-1.html>
  - ✓ 次回へ向けた意見交換：マスタープランの枠にとらわれず、中規模計画の位置付けも含め、天文学全体での将来計画の議論を常に行うことを目指す。

# 天文学宇宙物理学分科会報告

(1/27、5/8、8/20開催分)

- 提言「物理学における学問分野に基づく教育研究 (DBER) の推進」 (8月28日)
  - ✓ 物理学委員会・物理教育研究分科会 (天文学宇宙物理学分科会から3名が参加) による4つの提言  
<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-24-t295-3.pdf>
  - ✓ (参考) 天文学会分野別参照基準作成ワーキンググループで天文学教育上の参照となる資料を作成中